

# 北野の風

岡崎市立北野小学校 令和2年度 学校通信 No.4 7月17日(金)

## たんぽぽ

北野小学校長 丹羽 郁人

小学校二年生の国語の教科書にはひらやまかずこさんが文と絵をかいた「たんぽぽ」という説明的な文章がある。黄色く可憐な花を咲かせるたんぽぽは、仲間を増やすための秘密があるというのだ。たんぽぽの花は朝に開いて夕方に閉じる。咲き終わると地面に寝て、綿毛ができるとまた立ち上がる。いちばん身近な野の花なのに、たんぽぽは秘密をたくさん隠しているのだ。

工藤直子さんの詩に「ねがいごと」という詩がある。たんぽぽになりきって書いた詩だ。

ねがいごと

たんぽぽはるか

あいたくて

あいたくて

あいたくて

あいたくて

きょうも

わたげを

とばします

幼いころ、よく綿毛を吹いて飛ばした。綿毛は風に乗って、どこまでも飛んでいくような気がした。



一九八七年(昭和六十二年)、当時高校の国語教師である俵万智さんが歌集を出版した。出版されるや二八〇万部のベストセラーとなった、歌集「サラダ記念日」である。

二〇一一年(平成二十三年)三月十一日、東北大地震。震災の直後、俵万智さんは、小学校一年生の息子の腕をひいて、住んでいた仙台から、石垣島へと移り住んだ。

石垣島に降り立った時、息子と共に大地に咲いたたんぽぽを見た。俵万智さんのその時の短歌があまりにも切ない。

たんぽぽの 綿毛を吹いて 見せてやる

いつかおまえも 飛んでいくから

俵万智

母の決意。母の覚悟。

だからこそ、彼らには「生きる力」をつけさせたいのだ。

大地にどっしりと根を張り、胸を張ってたたずむことのできるように……。

## 学校再開、一か月半たちました

北野小学校に明るい笑顔が戻って早一か月半、新型コロナウイルス感染症対策のため戸惑いもありますが、通常の学校生活に戻り、子どもたちは張り切っています。

6月初め、2年生がナス・ピーマン・ミニトマトの苗を植えました。収穫も始まっています。



部活動が再開しました。体育館にボールの音が響いています。



2列で登校。班長さん・副班長さんが頑張っているみんなの安全を守っています。



## 委員会活動、スタート

北野小学校を過ごしやすい学校にするために、自分たちで考え、行動する、そんな頼もしい高学年二ー一人が頑張っています。

### 各委員会 委員長

企画	清水 奎伸
運動	西 蒼汰朗
ボランティア	成瀬 朝希
緑化	中川 日葵
放送	古田 景香
図書	若松 星那
美化	加藤 祥真
保健	横井 さやの
給食	西崎 柚稀



## 学級代表

五年一組	竹内 雄星	山内リリアン
五年二組	川原井 翔	上山 愛恵
五年三組	大久保晃介	関口 美虹
六年一組	鈴木 惺大	永田 琴音
六年二組	櫻井 詩恩	仲座 芹
六年三組	清水 奎伸	鷺見 心花

### 企画委員長

清水 奎伸

僕たち企画委員会は全校児童が楽しめる企画を考え実行していきます。今年は新型コロナウイルスの影響もあって、全校でどんな楽しいことができるか、考えています。一年生が北野小学校で楽しいなあ、と思えるようなことができたらいいなと思います。

そのために、まず、あいさつ隊を作りました。一緒に元気よくあいさつをして、いつも明るいあいさつができる北野小学校にしていきましよう。

休み時間に人気の一輪車。楽しく遊べるように整備しています。【運動委員会】



「あじさい読書」の目標達成者にプレゼントのしおりを作成中【図書委員会】



水槽の掃除中。毎朝の餌やりも頑張っています。【ボランティア委員会】



配膳台を磨きあげています。給食の後もコロナウイルス感染対策をして、片付けを手伝っています。【給食委員会】

